

## 県一富河中男子バレー部

# 急願のV!! 27年ぶりの大仕事

**異体同心 奇跡を待つより  
捨て身の努力 敵は我にあり**

5月25日 王梨市で行われた「第43回山梨県中学校選手権兼野呂瀬旗争奪大会」の決勝リーグに富河中・南部中の男子バレー部が勝ち進み、富河中男子バレー部が見事に優勝を勝ち取りました。

出場30チームで行われた今大会、予選トーナメントトーナメントで出場した富河中は、初戦御坂中をセシットカウント2対0、続く都留第一中を同じく2対0で退け、パート決勝押原中には第一セシットを奪われるものの2対1と逆転で、接戦を制して決勝リーグに進みました。4チームで行われた決勝リーグでは、南部中・笛南中・六郷中を全て2対0のペーパークリで破り、昭和57年に県トーナメントで依頼、27年ぶりの栄冠となりました。

## 感謝の気持ち澎湃

優勝の瞬間、選手達が応援団に駆けつけた家族・親戚・先生方に深々と頭を下げる。これが、監督である深澤宏彰教諭が口傳から生徒たちに繰り返し唱えていた教え。「どんな時でも感謝の気持ちを忘れないな」「親・地域の皆さん・小学校の先生方、全ての方々に感謝してプレーしよう」だった。この感謝の気持ちを持ち続け、「やつい結果で恩返しが出来あつた」と深澤先生は語った。

## 真の実力を示した 県中総体も優勝

7月28日 「第59回山梨県中学校夏季総合体育大会」の男子バレー決勝リーグ戦が甲府市で行われ、見事に富河中バレー部が本年度県2連覇を成し遂げました。

決勝リーグでは、1セシットも落とすことなく田富中・押原中・笛南中を2対0のストレートで破り完勝で優勝に輝くとともに、第一代表で8月に山梨で行われる関東大会の出場権を獲得しました。また、南部中が5位となり同じく関東大会の出場権を獲得しました。両チームとも頑張ってください。

部員は13人。「わざ小学生からのバレー経験者は3人のみ。「元候補のチームにやめられた」と深澤先生が直面するもじねば、他のOB、熱いドリームな場面も乗っ切ってしまった。十代の間われた大黒柱に頼るのではなく、みんなで拾つてみんなで攻撃する。みんなが一つ一つの良きチーム。



深澤宏彰 教諭 (ふかさわひろあき)  
S55. 1.19生。本郷出身。  
教員として7年目。



総体前日の24日、体育馆で汗をかく練習での主将を中心とした度頂点を田指す日の輝きに「頼むつれ」を感じた。その感覚に間違いはなかつた。「13人の生徒達」は「カイ仕事をやつ遂げた。本当にやめていい。

総体前日の24日、体育馆で汗をかく練習での主将を中心とした度頂点を田指す日の輝きに「頼むつれ」を感じた。その感覚に間違いはなかつた。「13人の生徒達」は「カイ仕事をやつ遂げた。本当にやめていい。